

ちなみに、

こんにちは、きみちゃんです。沖永良部に移住して1年と1か月が経ちました。出会った人に自己紹介すると「広報見てるよ!」と言われることも増えてきてとても嬉しいです。今年度も引き続き、〈放課後のまなび場〉と海洋ごみの調査を中心に活動していく予定です。どうぞよろしくお願いいたします!



四月三日からプレオープンしていた新施設がついに正式オープン! 閉園した下平川保育所がその対象を子どもたちから全世代に広げ、「産業クラスター創出拠点施設」として生まれ変わりました!

産業クラスター創出拠点施設と聞くと、なんだかお堅い気がしてしましますが、クラスターとは「群れ」や「ぶどうの房」などを意味する言葉で、簡単に言ってしまうと、「いろんな人たちが交流して新しいものがどんどん生まれちゃう場所」ってことです。

この施設を管理するのは、おきのえらぶ島観光協会。観光協会の事務局、物販、シェアオフィスやコワーキングスペース、レクチャールーム等が設置されています。シェアオフィスやコワーキングというのは、複数の法人や個人が会議室や作業スペース等を共有して働く共働型の働き方で、コスト削減だけでなく、社外の多様な人と関わりながら働くことで新しい視点を取り入れやすく、仕事上での相乗効果が高い等の理由から、近年、広まりつつあるワークスタイルです。わたしもさっそく打ち合わせなどで何度か施設を利用していただきましたが、大きな窓から海をのぞみ風に吹かれながらする打ち合わせの心地良いこと! 新しいアイデアも創発しやすい気がしました。

新施設の正式オープンは五月十一日。三月から四月にかけて募集された施設の愛称募集には全国から多くの応募があり、愛称は『エラブココ』に決定しました! これには共に「を意味する」、「心地よさこのココ」、「沖永良部島」のエラブ、「ココ」を選ぶ」という意味が込められています。

個人的には、これからエラブココで新たなまなび場の運営やワークショップやお茶会、読書会などを開催したいと思っています。エラブココがえらぶ島の人はもちろん、関係人口や交流人口と呼ばれる仕事等でえらぶを訪れる人や観光客など、さまざまな人々が集い、出会い、交流がうまれる場となってくれることを期待しています。みなさんまでぜひご利用ください!



1_島の回収は終わりましたが、リーフにはまだ油が残っています。涙 2_〈放課後のまなび場〉で転校するお友達にお別れの歌を披露。3_田皆の子どもたちが雑誌に! 4_フェリー波之上で屋久島へ。すてきな図書スペースに感激。5_甥っ子が島留学にやってきました!